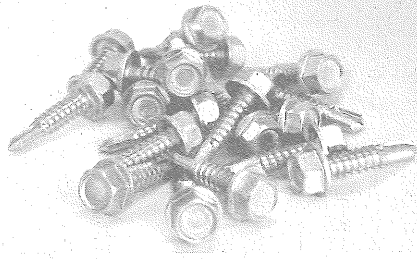


高耐食・薄膜メッキ両立

神山鉄工所クロム不使用ネジ

【東大阪】神山鉄工所（大阪府東大阪市、神山貴至社長、06・6782・2255）は、一般的な電気亜鉛メッキ処理の光沢クロム比で耐食性が10倍超とするクロム不使用の「ゼロクロメートル」処理ネジを開発した。高価な高耐食性処理と安価な光沢クロメートル処理の中間的な性能・価格を求めるネジ需要を開拓する。価格を環境負荷の低い三価クロム処理並みにし、建築・自動車関連などから月間1000万本の受注を目指す。



「ゼロクロメートル」処理ネジ

建築・車関連に提案

ゼロクロメートルはコバルトも使わず、欧州の特定有害物質規制（ROHS）と化学品規制（REACH）に対応する。メッキ部分の断面構造は表面の「ゼロクロメートル特殊化成被膜」が厚さ100μm（マイクロは100万分の1）、その下の亜鉛被膜が同80μm。メッキ薬品メーカーの協力を得て、合計90μmと薄膜の化成被膜化

ゼロクロメートルはコバルトも使わず、欧州の特定有害物質規制（ROHS）と化学品規制（REACH）に対応する。メッキ部分の断面構造は表面の「ゼロクロメートル特殊化成被膜」が厚さ100μm（マイクロは100万分の1）、その下の亜鉛被膜が同80μm。メッキ薬品メーカーの協力を得て、合計90μmと薄膜の化成被膜化

技術を実用化した。

日本産業規格（JIS S）の「JIS Z 2371」に準拠する塩水噴霧試験を実施したところ、公設機関に依頼した試験では光沢クロメートルは72時間後に赤サビが発生した。一方、ゼロクロメートルは公設機関、神山鉄工所のいずれの試験でも発生が864時間後と、10倍超の耐食性を示した。白サビの発生はいずれの試験も648時間後だった。

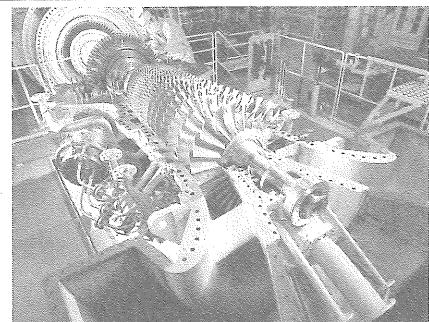
荷増が難点となる。

ゼロクロメートルはこれらの改善と高耐食性の両立を訴求する。単価はサイズや数量で異なるが、従来の三価クロメートル処理並みとする予定。神山鉄工所が強みとする建築用ネジや、自動車関連などにも幅広く提案する。

超音波探傷装置2種投入

KJTD、製鉄・鉄道向け

KJTD（東京都豊島区、高橋弘幸社長、03・5957・7367）は、超音波探傷装置「USFD-20II 写真」「PA5」の計2種を5月に発売する。製鉄や鉄道分野などの金属加工の探傷試験で採用を見込む。可搬型のUSFD-20は小型・軽量で2時間の搬送は78万5000円（消費税抜き）。年間100台の販売を目指す。



3万kW級ガスタービン

川重、海外で初受注

川崎重工業は中国の山東省で、出力3万kW級の高効率ガスタービン「L30A=写真」1基を受注した。川重製では最大出力の機種

異常検知・故障防止

安川電

安川電機は高精度位置決めが可能な新ACサーボドライブ「ZMX（シグマ・テン）」の受注を3月に始めた。2013年に投入した「同7」の後継機。モーション性能向上とセンシングデータ活用を実現した。サーボ

追加機能シリーズ

ACサーボドライブはサーボアンプとサーボモーターで構成する。半導体や液晶の製造など高精度な位置決めが求められる用途では必須の回転速度の7000回/分まで安定的に稼働する。速度周波数応答は3・1kHzから3・5kHzに向

ACサーボドライブは、食品・繊維機械、マシンングセンタ（MC）、ロボットなど高精度な位置決めが求められる用途では必須の回転速度は毎分1000から始まる「デジタル」の受注を開始。22年3月やモーターが駆動する